

古賀市

# 農業委員会 だより

2025.3.20

古賀市農業委員会だより

春号

vol.43



## おもな内容

- 古賀市の農業の未来を創る「地域計画」
- 古賀の食材こだわりのお店〈焼肉ラーメン たちかわ〉
- 古賀の農の匠たち
- レポート(軽トラ市) ほか

## アスパラの豚肉巻き



### 【材料】(2人分)

- ・アスパラガス…4本
- ・豚バラ肉(しゃぶしゃぶ用)…8枚
- ・オリーブオイル…適量
- ・酒…大さじ2
- ・塩、コショウ…少々
- ・小麦粉…適量

### 【作り方】

- ①アスパラガスの根元側の硬い皮をむき、はかまも取っておく。
- ②アスパラガスを2等分に切った後、1～2分下茹でする。
- ③豚バラ肉に小麦粉を振り、粗熱を取ったアスパラガスに巻き付ける。
- ④巻き終わった豚バラ肉の外側にも薄く小麦粉をまぶし、ギュッと握る。
- ⑤④の具材の全体に塩コショウを振りかける。
- ⑥フライパンにオリーブオイルを引き中火で熱し、⑤を並べ入れ5分間焼く。
- ⑦全体に焼き色がついたら酒を回しかけ、蓋をして中火で1分蒸し焼きにする。
- ⑧蓋を開け、水分が飛ぶまで焼いたら完成です。

## ●レポート●

# 軽トラ市開催！900人が来場

12月15日、古賀グリーンパーク出会いの広場で「農家直売！軽トラ市」が開催され、古賀市農業委員会も出店しました。時折小雨が降る空模様でしたが、約900人の来場者が訪れ、会場は活気に満ち溢れていました。

会場には、地元の農家が持ち寄った新鮮な野菜や果物、加工品がずらりと並び、来場者は目移りしながら品定めを楽しんでいました。特に、家族連れが多く、子どもたちは「お米の重さ当て」や「餅つき」などのイベントに参加し、笑顔を見せていました。

出店者も来場者とのふれあいを楽しみながら、熱心に商品を紹介していました。またフードや工芸品を販売するお店もあり、来場者はその場で味わったり、お土産に購入したりと、大いに賑わっていました。

次回の軽トラ市は、夏頃に開催予定です。次回も、多くの皆様のご来場をお待ちしています。



## 古賀産農産物

### プレゼント クイズ<sup>43</sup>



今回は「アスパラガス」についてのクイズです。次の①～③のうち、店頭で選ぶ際、新鮮なものの特徴として正しいものはどれでしょうか？

- ①穂先が締まっているもの
- ②切り口が茶色いもの
- ③軸が曲がっているもの

ハガキにクイズの答え・氏名・住所・電話番号・“だより”の感想(いちばんよかった記事など)をご記入のうえご応募ください。正解者の中から抽選で3名に「古賀産農産物」をプレゼント。正解は次号でお知らせします。

【締切】 令和7年4月30日必着

【応募先】 〒811-3192 古賀市駅東1-1-1

古賀市役所 農林振興課内 農業委員会事務局



梶原さん



武市さん

前号の  
正解  
①  
枝に  
ついたもの

古賀市

# 農業委員会 だより

令和7年3月20日発行  
編集／古賀市農業委員会だより編集委員会

## 編集後記

新任の農業委員として半年がすぎました。近隣の市町でも開発が進

んでいますが、古賀市でも田畑が埋めたてられ開発が進み、農地が減少しています。毎月の農業委員会でも多くの協議事項があり、高齢化や担い手不足などから

農地を手放していく状況が目に見えています。今後も農地の保全、集積、利用促進など、わかりやすくお伝えしていきます。  
(中野編集委員)

●古賀市産の食材を楽しめるお店を紹介します。

古賀の食材  
こだわりのお店①



## 焼肉ラーメン たちかわ

JR古賀駅から徒歩15分、創業以来、多くのお客さんの食欲を満たしてきた「焼肉ラーメン たちかわ」をご紹介します。焼肉、ラーメン、ちゃんぽん、皿うどんなど、訪れた人の食欲を刺激するラインナップが魅力です。



野菜もりもり応援店の認定メニューとなっております。おり、たつぷりの地元産野菜と麺が食べ応え抜群。心も体も大満足の一品です。



焼肉やラーメンもおいしいですが、ボリューム満点のちゃんぽんもぜひ味わってみてください。

### 「焼肉ラーメン たちかわ」

☎092-943-7917

住所：古賀市中央5-3-1

営業時間：月・火曜日、木・日曜日

11時～14時、17時～20時

定休日：水曜日 駐車場：若干

古賀市産の食材を使用している飲食店様の情報を募集しています。自薦他薦を問いません。情報を農業委員会事務局にお寄せください。  
☎092-942-1140 FAX092-942-3758



## デジタル技術で お祭りに参加

スマートアグリビレッジおの推進協議会は、デジタル技術を活用した実証の一環として、ウェアラブルカメラを活用し、市内の老人ホームと「まつり古賀」の会場をリアルタイムで中継する取り組みを行いました。

この取り組みでは、老人ホーム利用者の方々が、ウェアラブルカメラを装着した現地スタッフと映像や音声を共有し、お祭りの様子を見ながら買い物をしました。また、買い物だけでなく、太鼓の音や賑やかな声、雑踏の中を進んでいく映像など、お祭りの雰囲気も楽しんでいました。

この実証を通じて、単に便利だけではなくではないデジタル技術の側面も見ることができました。



●高い技術力を持ち、古賀市で高品質な農産物の生産に取り組む「農の匠」を紹介します。

## 「第11回」古賀の農の匠たち



農事組合法人ファームおの

代表理事

渡孝志さん

農業経験…(法人設立から)14年  
生産物…水稲・麦・ブロッコリー

スイートコーン



### ◆農業をはじめたきっかけは？

小野南部地区の圃場整備事業をきっかけに、平成22年6月に「小野南部営農組合」を設立。その後、平成24年2月に「農事組合法人ファームおの」として法人化。圃場整備事業の条件であった耕地利用率160%を達成するため、個人ではなく組織として営農していくことを決めました。

リーやスイートコーンといった園芸品目にも取り組み、多角的な経営を心掛けています。

### ◆これから取り組んでいきたいこと

「楽しい農業を目指す！」をモットーに和気あいあいと農業に取り組んでいます。皆で楽しんで農業に取り組み、かつしっかりとした収入にも結び付いていることで、さらなる活気につながっています。

今後は米の直販やスマート農業にも取り組み、さらに安定して経営できるようしていきたいと考えています。また経営を次の世代に引き継ぐことも視野に、技術やノウハウの伝承と併せて、若い世代が入ってきやすい環境が作ればと考えています。

### ◆農業の良さやおもしろさ、大変さ

「楽しい農業を目指す！」をモットーに和気あいあいと農業に取り組んでいます。皆で楽しんで農業に取り組み、かつしっかりとした収入にも結び付いていることで、さらなる活気につながっています。

### ◆若い農業者に伝えたいこと

農業はやり方次第ではおもしろいし、儲かる。楽しい農業ができるようにぜひ頑張ってもらいたいです。

### ◆農業へのこだわり

法人設立当初から協業を基本として、法人だからこその大規模で省力的な農業経営を行ってきました。また、米、麦だけではなく、ブロッコ



# 古賀市の農業の未来を創る「地域計画」

古賀市では、地域の農業の持続的な発展を目指し、「地域計画」の作成に取り組んでいます。この計画は、単に農地の利用計画を立てるだけでなく、地域住民や農業関係者、行政が一体となり、農業の未来を描き、その実現に向けて共に歩んでいくための羅針盤となるものです。

## 地域計画とは？.....

地域計画とは、農業経営基盤強化促進法に基づいて策定されるもので、各地域の農業の将来像を明確にし、その実現に向けた取り組みを具体的に示すものです。従来の「人・農地プラン」をより発展させたもので、地域全体の意見を反映し、より長期的な視点で農業の未来を描きます。

## なぜ地域計画が必要なのか？.....

日本の農業を取り巻く環境は、高齢化や後継者不足、気候変動など、様々な課題を抱えています。このような状況下において、地域が主体的に農業の未来を考え、具体的な行動に移すことが求められています。地域計画は、これらの課題解決に向けた第一歩となるものです。

## 地域計画で期待される効果.....

地域計画が策定されることで、以下の効果が期待されます。

**地域農業の活性化**：地域の特性を生かした農業の振興、新たな担い手の育成、農産物の高付加価値化などが期待できます。

**行政と農業者の連携強化**：行政と地域住民が一体となり、農業の振興に取り組むことができます。

## 今後の展望について.....

古賀市では、本格的な話し合いを今後スタートさせ、「地域計画」の内容をより密度の高いものにしていく予定です。一度計画を作った終わりではなく、地域の変化や新たな課題に対応するため、計画は随時見直し、アップデートしていく必要があります。

地域計画は、地域住民が主体的に参加し、共に作り上げていくものです。古賀市の農業の未来を創るため、多くの皆様のご協力をお願いいたします。

